



「家庭の元気応援キャンペーン」  
マスコットキャラクター「ファミリン」

## 令和4年度やまぐち地域連携教育の集い

地域連携教育班

学校・家庭・地域が連携・協働して子どもたちの学びや育ちを支援する山口県の地域連携教育に対する理解を深め、取組の充実を図ることを目的として、実践発表や有識者による講演などを下記の日程により開催しました。今年度の集いも新型コロナウイルス感染症に対する様々な対策を講じた上での開催となりましたが、多くの方の参加と協力により大変有意義な集いとなりました。これからも、ウィズコロナの時代の新たな地域連携教育の在り方を関係者の皆様とともに考えながら、歩みを止めず、山口県の地域連携教育の充実に向けた取組を進めていきます。

### < 西部地域 >

日時：10月28日(金) 13:30～16:30  
会場：防府市三友サルビアホール



防府市立右田中学校区  
地域協育ネット

県立防府商工高等学校

### 【講演】

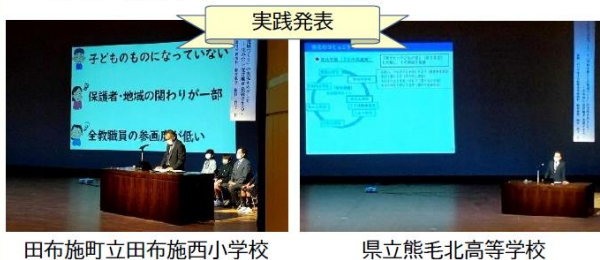
「地域とともにある学校づくり」と  
「学校を核とした地域づくり」の実現をめざして  
～ これまでの取組の成果 これからへの期待 ～

講師 山口大学大学院教育学研究科  
教授 静屋 智 氏



### < 東部地域 >

日時：11月10日(木) 13:30～16:30  
会場：柳井市サンビームやない



田布施町立田布施西小学校

県立熊本北高等学校

### 【講演】

「地域とともにある学校づくり」と  
「学校を核とした地域づくり」の実現をめざして  
～ 生み出し 受け継ぎ 発展させる ～

講師 山口大学大学院教育学研究科  
特命教授 岡田 淳子 氏



### ★参加者の感想★

- 子どもの人間性を社会全体で育むという理念がしっかりと伝わってきた。学校に課せられる役割は大きく多岐に渡るが皆で考えていきたい。特に子どもたちとともに考えていきたい。
- コロナ禍においても工夫を凝らし、地域連携を進められている最新の事例発表を聞くことができ、とても参考になった。
- OCS 経営を振り返る機会となった。多くの主体的な取組や工夫の紹介により、今後の具体的な取組へのイメージが広がり、すぐにでも取り組みたいことが湧いてきている。早速実践に移していきたい。
- 児童生徒を学校・家庭・地域のみんなで育てようという取組が充実してきたなと感じた。CS の大きな力を感じることができた。

## 青少年自然体験活動推進事業「心の冒険・サマースクール」

青少年教育班

本事業は、次代を担うチャレンジ精神にあふれるたくましいリーダーの育成及び思春期の子どもへの多面的な支援をめざして、平成5年にスタートしました。本年度も、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じた上で、小学生チャレンジプログラム(7泊8日)及び中高生クエストプログラム(7泊8日)を実施しました。

プログラムに参加した子どもたちは、仲間と力を合わせて多様な課題(バックパッキングやロッククライミング、ソロ等)に挑戦し、それらを乗り越えることにより、自信を深めるとともに、話し合いや協力の仕方を学びました。事業前後のアンケートからは、子どもたちの生きる力の高まり(国立青少年教育振興機構が開発した IKR 評定用紙による測定の結果)や日常生活の変容が示されました。

小学生	<p>事前調査 131.2 事後調査 140.6</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり話をしていなかった子に話しかけて仲良くなり、友達がどんどん増えて学校生活が楽しくなった。</li> <li>・前はあまり参加していなかった学年の代表者が集まる代表委員会に出て、思いついた意見をどんどん出した。</li> </ul>
中高生	<p>事前調査 128.2 事後調査 135.2</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物を大切にし、片付けを進んでするようになった。学校生活では、先生が何か話すときにも、常に自分事として話が聞けるようになった。</li> <li>・体育祭で今まであまり関わらなかったクラスメイトと話したり、励まし合ったり、助け合ったりできた。</li> </ul>

## わが家のやくそく大募集

家庭教育支援班

家庭教育支援班では、「家庭の元気応援キャンペーン」の一環として、基本的な生活習慣や手伝いの定着、生活リズムの向上等に向けた取組を促進するとともに、学校・家庭・地域が連携した組織的な取組を広げることを目的に「わが家のやくそく大募集」を行っています。

右のグラフにあるように、この「わが家のやくそく大募集」は、年々応募者数、参加校数とも増加しており、今年度の9月に実施した夏休みチャレンジでは、県内 203 の小・中学校から、10,550 人の応募がありました。

応募内容には、あいさつや早寝・早起きなど、生活習慣に関するものや、家族の一員として毎日決まった手伝いを取り組んでいるもの、言葉遣いやあいさつなど、親子のコミュニケーションに関わるものなど、様々な取組がありました。

1月には、「冬休みチャレンジ」を実施します。「わが家のやくそく大募集」の取組を通して、家族で生活習慣の見直しを行い、児童生徒の家庭生活が一層充実していくことを期待しています。

